

せとうちちょう 議会だより 第166号

平成 29 年 9 月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



第60回奄美郡島市町村議会議員大会が、5月18日（木）与論町にて開催されました。



宇検村・大和村議会議員との意見交換（議会改革に関する調査特別委員会）

こんなことを決めました 第2回定例会 6月7日~9日

第2回定例会では、専決議案1件、補正予算議案6件、条例議案4件、契約議案1件、その他13件の計25件の議案を審議し、それぞれ可決しました。主な議案の要旨は次のとおりです。

一般会計補正予算 (第1号)

特定離島ふるさとおこし推進事業費(加計呂麻島・請島・与路島の3島が対象)として1億7941万7千円。
 主な事業内容は、農道整備(請阿室・諸鈍・秋徳・勢里・与路地区)5220万円、共同利用農機施設整備(ビニールハウス勝能・於齊地区)3029万4千円、道路環境整備(鎮西・西阿室・実久・池地地区)4136万円、公共用観光施設整備(加計呂麻島ゆるっとハウス・観光マップ看板整備)3000万円、こみ・減量化対策事業(生こみ処理機購入与路島・請島)1366万2千円、定住促進対策として222万円などです。



工事中の阿木名小中学校体育館

また、役場非常用発電機に係る経費として3000万円、一般廃棄物処理施設建設事業費に1213万9千円、西古見防災コミュニティ施設整備事業費に6990万5千円、地域型保育給付費(負担金)に1715万円、地域振興推進事業費(農業施設整備・加計呂麻島展示・体験交流館改修)2017万6千円など。総額3億9430万5千円を追加しました。

阿木名小中学校体育館改築工事(建築工事)請負変更契約の締結について

現在「勇・里山特定建設工事共同企業体」と一金3億1320万円で契約し工事を進めておりますが、今回、143万円を増額するものです。

主な変更内容は、防水工事シーリング耐震スリット分の追加、鋼鉄建具のステンレス製への変更等となっております。

敬老祝金支給条例の一部改正について

「敬老祝金支給事業」を継続可能な事業とするため(支給対象者は変えずに支給額のみ)段階的に改正しました。

内容としましては、今年度は「85歳の者は7千円」「90歳以上99歳の者は2万円」「100歳以上の者は7万円」に、来年度は「85歳の者は5千円」「90歳以上99歳の者は1万5千円」「100歳以上の者は5万円」に改めるものです。

農業委員の任命に同意

現農業委員の任期満了(平成29年7月19日)に伴い10人の委員の任命に同意しました。(敬称略)
 碩悟(阿木名) 岡野正郎(嘉鉄) 田中勝弘(古仁屋) 元克美(篠川) 森山和雄(渡連) 豊田孝一郎(古仁屋) 川島博(於齊) 永井利一(久慈) 数原菊美(渡連) 堯文俊(勝浦)。

一般質問

第2回（6月）定例会では、8名の議員が町政全般にわたり、質問・提言を行ない、議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



安 和弘議員

町長の政治姿勢 （政策）について

議員 人口の減少が止まりません。これ以上減らさない為の具体的な対策を伺います。

町長 人口減少に歯止めをかけるためには、雇用の創出が最も重要なことだと考えております。その手立てとして、農業公社の設立による「農業の振興」そして、「企業誘致・起業支援」等を進めております。また、具体的な対策につきましては、「出産祝金支給事業」「加計呂麻留学制度」を行っております。

移住・定住促進対策としては、「新築・中古住宅購入助成金」「住宅リフォーム等助成金」及び「移住体験住宅」の設置、そして、「移住体験ツアー」や「出会い体験ツアー」等を実施しております。

教育行政について （町内小中学校の環境整備について）

議員 古仁屋中学校のパソコン、タブレット等の現状を伺います。

教育長 古仁屋中学校のパソコン、タブレット等の現状ではありますが、生徒用タブレットは20台、教員用は1台配置してあります。校務用パソコンにつきましては、16台配置であります。生徒用タブレット及び校務用パソコン配置につき

ましては、目標であります一人1台の配置になっておりませんが、他の学校も含め、本町の情報化教育の実態を検証しつつ、年次的に情報化機器整備を図ってまいります。



古仁屋中学校パソコン教室

議員 同じく、古中の3年生教室の夏の暑さ対策について、伺います。

教育長 古仁屋中学校の3年生教室の暑さ対策とい

うことですが、古仁屋中学校に限らず本町の学校教室では、扇風機を設置しての暑さ対策となっております。扇風機の故障等については、学校から要望が来ておりますので、早急な補修対応を行ってまいります。

議員 この度、再開した池地小学校の水道状況を伺います。

教育長 池地小学校の水道の状況ではありますが、蛇口をひねると最初さびのようになごった水が出て、直ぐにきれいな水になります。これは学校施設内の水道配管が銅管ということですので、3年間の休校で使用されていなかったために、銅管継ぎ手等の腐食によるものと思われる。今しばらく使用することで改善

するかもしれませんが、もう少し様子を見てまいりたいと思います。

なお飲料水については、浄水器の設置により対応してまいりたいと思います。

議員 篠川小学校の新入児童が久慈から通学しています。この児童のバス通学について、学校側から何か聞いていないか、伺います。登校時8時・下校時16時50分にできないか。

教育長 伊田集落から篠川小学校へ通学している児童が利用できるように、瀬戸内海浜バスの時刻を変更して欲しい旨の要望書が出ておりました。町において要望書についてバス運行事業者と協議を行いました。バス運行事業者の回答としては、

西古見、古仁屋線の時刻を変更するとその他の運行路線5路線の時刻を変更することになる等の理由により、現段階での時刻変更は出来ないというものであります。この回答結果について、篠川小中学校へ連絡したところであります。



柳谷 昌臣議員

世界自然遺産登録に伴う観光関連、その他取り組みについて

議員 本町は、国内有数のクロマグロの養殖地ですが、クロマグロを使った当地グルメを売りにした方がよいと思いますが、どうお考

えですか。

町長 本町は、クロマグロ養殖の一大産地でありながら、町内で食事や購入する機会がなかなか無かったことから、昨年度より「マグロ消費促進事業」を町単独事業として実施しております。

これは、漁協、商工会が主体となり、養殖業者からクロマグロを買い上げ時に、買い上げ価格の一部を町が補助するものでありまして、通常よりも安価な「養殖クロマグロ」を町内で取り扱うことで、町民や観光客等が低価格で食事や購入する機会を提供することにより、「クロマグロの町」としてのイメージ効果を図り、観光等の集客を促進するものであります。

青少年育成について

議員 ここ数年スポーツ少年団も各大会等の参加も増えてきてレベルアップしている素晴らしいと思います。が、保護者の負担も増えていきます。

これまでも遠征の補助などされていますが、増額できないか、おたずねします。

教育長 スポーツ少年団の大会等への補助については、現在、年1回の地区大会への旅費の3分の1を補助しているところであります。その他、鹿児島県大会以上の大会に出場する場合は、その大会への出場資格を得た団体個人、大島地区予選会がなく県大会に出場した場合は3位以上の個人団体には3分の1の旅費補助、九州・全国大会へ出場した場合は2分の1の旅費補助

をしているところであります。近年、少年団の大会等が増え保護者等の負担が増えてきているのは承知しているところでもあります。今後、財源確保等もございまして、少しでも軽減できるように検討したいと考えております。



大島地区スポーツ少年団交歓大会

議員 加計呂麻島、請・与路をはじめ各集落から習い事をする子どもたちへ交通費助成はどうなっておりますか。

すでしょうか。

教育長 各集落の子どもへの交通費の助成についてはありますが、瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略の子ども・子育て支援の充実の項目に位置づけをし、協議をしているところでもあります。

今後、町全体の、子ども・子育て支援の施策の一環として優先順位を考慮しながら進めてまいりたいと考えております。



元井 直志議員

学校の教育環境について

議員 瀬戸内町の学校教育環境、整備状況、学校予算

について質問します。

教育長 学校教育施設整備につきましても、すべての学校から提出いただいたいる営繕・補修箇所要望書に基づき、毎年10月に施設営繕・補修箇所調査ということで、現地調査を実施しており、翌年度の予算計上に向け、取り組んでいるところであります。

すべての学校からの要望箇所の事業実施については、本町の財政事情から大変厳しいものであり、予算の範囲内で児童生徒の安全確保及び緊急性等を考慮して、事業実施しているところでもあります。

また、要望箇所以外においても、学校運営上の教材備品、学校備品及び施設補修案件が、日常的にありませんので、予算に余裕がないのが現状であります。

なお平成29年度当初予算においては、阿木名小中学校体育館改築工事請負費及び与路小中学校体育館の大規模改修に係る実施設計委託料を計上してあります。



嘉徳海岸の現状

嘉徳海岸について

議員 嘉徳海岸は浸食を受けて応急処置的な事はしてあるが、いまだ抜本的な処置がされていない。台風シ

ーズンを迎え住民は心配している。確たる処置について質問します。

町長 嘉徳集落の海岸浸食防止を図る整備につきましては、県事業において平成28年度の防災・安全交付金事業として新規採択されておりあります。

新規採択を受け、集落へ事業計画説明会を実施し、その後、環境調査を行い、測量設計による計画案について、今年の3月末に2回目の集落説明会を開催したところでもあります。

その説明会において、海岸浸食により家屋の倒壊の恐れがあるので早期に整備を願う意見や、護岸設置により自然環境への影響を心配する等、様々な意見が出されたところであります。

それらの意見を踏まえ、県からは、護岸整備の必要

性はあるが、事業の進め方について検討し、早期着工に努めたいと聞いておりますので、町としましては、県と連携しながら、事業促進に取り組んでまいりたいと考えております。

タラソテラピーについて

議員 瀬戸内町には、いまだタラソテラピー的な施設がなく不便を感じている。今後このような施設設置についての行政の姿勢を質問します。

町長 タラソテラピー（海洋療法）は、豊富なミネラルを含む海水や潮風、気候、地形など、海の資源を用いて身体機能を活性化する健康療法で、心身にエネルギーを与え、ストレス解消やリラクゼーション効果もあ

ると言われています。

本町におきましても、平成17年度に「あまみタラソ健康づくり事業」（長寿・子宝プロジェクト）を実施したほか、平成28年度からは「みんなでつくる健康増進事業」として奄美市の施設「タラソ奄美の竜宮」にて実施しております。

タラソテラピー施設を建設して運営していくとなると、建設費や運営費等のトータルコストがどれほどになるかを、ニーズを踏まえながら慎重に算定していかなければなりません。大型公共事業等も多く控えている中で施設建設は困難であると考えています。

当面は、現在実施している健康増進事業を継続し、健康意識の向上に努めてまいります。



中村 義隆議員

ふるさと納税 について

議員 ふるさと納税の平成27年度と28年度比を伺います。

町長 ふるさと納税の平成27年度と28年度の比較につきましては、27年度が3560件の7401万7千803円で28年度が3090件の9933万8千円で前年度比は、件数で約13%の減、金額では34.2%の増額であります。

議員 返礼品見直し再要請で、本町の真珠などの宝飾品は対象に入っていないで

しょうか伺います。

町長 総務省からの公文により、本町の返礼品の一部、真珠等に対する見直し要請がありました。

なお、商品につきまして、一部高額納税に対する返礼品の率が、60%以上の商品5点が対象となっております。

嘉徳集落の護岸工事 の事業推進について

議員 住民と自然保護グループとの折り合いは。

町長 今年の3月末に2回目の集落説明会を開催したところであります。

その説明会において、海岸浸食により家屋の倒壊の恐れがあるので早期に整備を願う意見や護岸設置により自然環境への影響を心配

する等、集落民や集落外住民の方々から様々な意見が出されたところであり、

それらの意見等を踏まえ、県からは、護岸整備の必要性はあるが、事業の進め方について検討し、早期着工に努めたいと聞いておりますので、町としましても、県と連携しながら、事業促進に取り組んでまいりたいと考えております。

飼い猫条例の 罰則規定について

議員 内容説明を伺います。

町長 飼い猫条例の罰則規定については、飼養登録、マイクロチップの埋め込み、放し飼い制限、繁殖制限、飼育頭数制限、飼い猫以外に餌を与える行為の禁止、遺棄の禁止の規定を遵守していないと認められる者に



市街地のノラ猫

対し、指導又は勧告を行い、勧告に係る措置をとらなかつた場合は、措置をとるべく命令を行います。この命じられた措置を行わなかった者に対して5万円以下の過料を科します。

また飼い猫の飼養及び管理の報告に対する虚偽報告、調査妨害等に対しては2万円以下の過料を科します。



渡島 芳臣議員

フェリーかけろまの 運航について

議員 今回の運賃改定により、加計呂麻の住民が、回数券、往復券が利用できなくなった理由、この事により生間港からの乗客は毎回、一旦バスを降りて切符を買い、100m近く歩いてフェリーに乗る事になり、足の悪い乗客が多いなか、非常に不便な思いをしています。以前のように券が買えるように出来ないものか伺います。

町長 割引運賃の制度上、他の割引とは重複して利用出来ないようになっていま

す。御理解をお願いします。

議員 運賃を生間港、往復180円値上げする事になった経緯、古仁屋在住の生間港を利用する出身者にとっては出費が大きく困っています。公共機関が運営する乗り物で、これほど一気に運賃を値上げしなければならなかったのか審議会の内容及びメンバーを伺います。

町長 加計呂麻島において長時間滞在できる古仁屋と瀬相往復に利用者が偏っていました。一律料金にする事で、加計呂麻島における観光の幅が広がり、リピーターの増加につながる事が期待されます。審議会のメンバーは鹿児島運輸支局長、県交通政策課長、町長、町商工会長、諸鈍区長、薩川区長、かけろまバス代表、

税理士代表の8名です。

議員 新船就航時から切符の回収方法が変更になり乗船時に回収していますが、乗客にとっては、両手一杯荷物を持っている中、切符を渡すのは大変不便の様であります。又、出港まぎわは、乗客と車が同時に移動しており、事故の危険があります。乗客の安全の為に、切符回収よりも乗客の誘導、車の誘導を優先して行うべきです。乗客の意見を尊重して進めるべきではないか、おたずねします。

町長 今後も乗客の身になって、住民サービスを怠らさず対応してまいります。
議員 仮待合所を設置してありますが、少人数しか入れず乗客に不便さはないのか、伺います。

町長 今後も利用動向を踏まえて対応していきます。



加計呂麻島に向かうフェリー

農業振興について

議員 マンゴー、パッションフルーツの農家は増加しているのか、昨年の収入金額、前年度との伸び率、今後の見通し、アボカドの農家数、今後の展望を伺います。

町長 マンゴーの農家数は

16戸、平成28年度の生産額は1140万円となっております。伸び率は102%です。パッションフルーツの農家数は28戸、生産額は3337万円、伸び率は93%です。今後も販路拡大し農業所得の向上を図ります。アボカドの生産者会員数は78名、今後は本町にあった品種の選定と栽培技術の確立を図ってまいります。

各学校の施設整備 について

議員 各学校の施設の老朽化が進み危険な状態の箇所がありますが把握されているのか、この整備計画を伺います。

教育長 現地調査を実施しており、翌年度の予算計上に向け、取り組んでいるところであります。



澤 佳男議員

作家島尾敏雄 について

議員 島尾敏雄は、本町とは縁の深い作家であるが、今年が生誕100年に当たり、7月に名瀬と瀬戸内で記念事業が計画されている。この事業に町としてどのような姿勢で取り組むのか、町の考えを聞かせていただきたい。

町長 島尾敏雄は、加計呂麻島とゆかりの深い作家であり、今年が生誕100年の記念すべき年であることから、島尾敏雄顕彰会と連携をはかりながら、『島尾敏雄生誕100年記念祭』を

共催で行います。この機会に島尾敏雄の足跡を、文化や観光の振興に活かしながら、島尾文学の魅力が一人でも多くの方々に伝わるよう積極的に協力してまいります。



呑之浦の文学碑と墓碑

議員 加計呂麻島、呑之浦は、島尾敏雄の代表作の重要な舞台となっており、そのことも手伝って、全国的には『瀬戸内町』よりも『加計呂麻島』の知名度が高い。今後、島尾敏雄という全国に通用する作家を有効活用

して、瀬戸内町のイメージアップ、そして観光にも利用していくべきであると考え、町の考えを聞かせていただきたい。

町長 加計呂麻島は、日経新聞が特集した島旅の達人が選ぶ「長旅は承知！それでも訪ねたい離島、ベスト10」において第4位にランクインするなど、知名度は確かに上がっており、関東、関西のバラエリアの就航や、国立公園決定の効果もそうですが、テレビタレントの来町や旅番組に取り上げられるなど、テレビ番組やSNS等の影響も大きいものと思われます。

作家である島尾敏雄氏を有効活用して観光にということではありますが、呑之浦にある文学の碑を訪れる観光客も多く、震洋隊の基地として戦跡の紹介もして

り、呑之浦の深い入り江と静かなたたずまいや風情が、当時の戦争の最前線と現在のギャップを感じ、加計呂麻島を感じてもらいたい場所であると思います。今後も今の自然な状態を保って呑之浦を紹介したいと思えます。

また新規の活用としては、諸鈍にあります加計呂麻島展示・体験交流館の展示コーナーに、島尾敏雄コーナーを設け、加計呂麻島とつながりのある文学や生い立ちを紹介していきたいと考えています。



榎 藤光議員

「フェリーかけろま」 の2隻態勢について

議員 加計呂麻島民にとって唯一の生活航路であるフェリーかけろまが昨年12月29日、岸壁への衝突事故から、今年の3月30日に旧船が運航再開するまでの約3ヶ月間一番不便を感じたのは足の不自由な方、また車で通院されている高齢者の方々です。生まれ育ったふるさと加計呂麻、住み慣れた自然豊かなこの島がこんなにも厳しいものかと、切実に思ったことと思います。この航路は生活航路です。陸上では集落へ通じる生活道路に危機管理施策として必ず迂回路がありますが、この加計呂麻航路には危機管理施策が確立されていません。今後、世界遺産等に加計呂麻への観光客が増えること予想されますことから今回の事故を教訓に2隻態勢で安心・安全な生活航路の確保、また加計呂麻観光の

利便を促進する事が必要だと思いますがいかがでしょうか、財政的に厳しい事とは思いますが、加計呂麻島の郷友会も含めた、まさに「チーム瀬戸内」を発揮してあらゆる角度から検討をお願いしたいと思っています。

町長 今回のフェリーかけるまの事故により町民の皆様、特に加計呂麻島住民の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしましたことに対しまして心よりお詫び申し上げます。

ご質問の2隻態勢についてであります。本航路は国庫補助航路でありますので国・県の見解も踏まえ、今後の検討課題として真摯に受け止めたいと思えます。まずは、今後、既存の船舶で事故のないように安全・安心な運航を確立するように努力していくことが必要

であると考えております。



大島海峡とクルーズ船

構造改革特区を利用した観光振興施策について

議員 観光産業はあらゆる産業の集約と言われている。国立公園、世界自然遺産登録、国の構造改革特区等々は耕地面積の少ない本町にとって観光産業による新たな雇用創出が可能な大

きな追い風の環境であります。構造改革特区を利用した地域再生計画及び市街地活性化基本計画を策定し就業機会の創出、経済基盤の強化又は生活環境の整備等の計画があるのか伺います。

町長 商工観光課関係では、奄美大島5市町村が連携した「世界自然遺産登録を見据えた観光受入体制構築プロジェクト」として地域再生計画を2件策定しております。

企業版ふるさと納税を活用した計画と地方創生推進交付金を活用した計画となっており、いずれも奄美大島DMO(地域の中心となつて、観光を盛り上げる団体)事業等を推進するための計画となっております。また、今年度中に「瀬戸内町観光基本計画」の策定を予定しております。なお、

奄美群島においては、平成26年に改正されました奄振法の規定により特例通訳案内士や旅行業法の特例が認められております。



向野 忍議員

町長の政治姿勢について

議員 鎌田町長が就任以来、6月で任期の折り返しの時期になります。「瀬戸内創生マニフェスト」の進捗並びに達成状況について伺います。

町長 現時点において、おおむね9割程度達成しているものと考えております。

議員 マニフェストの検

証・評価について、自己検証・評価や行政内部検証・評価したものを公表する考えはないか伺います。

町長 マニフェストの検証・評価の公表につきましては、現段階においては考えておりません。

「瀬戸内創生マニフェスト」は、「まちづくり」の指針として8分野、そして具体的な政策として34項目を掲げており、この達成により町民の真の幸せが実現できると確信していることから、これまでの検証・評価につきましては、町民の皆様の判断に委ねるべきものであると考えております。

「あしたの加計呂麻島プロジェクト」について

議員 「加計呂麻島を今よ

り元気な島にして子どもたちに渡す」ために島民など約130人が出席し「あしたの加計呂麻島プロジェクト」

の総会が開かれ、地域再生の取り組みが始まっています。この取り組みに対し、町長としてどのように受け止め、支援等されるのか伺います。

町長 4月に行われました「あしたの加計呂麻島プロジェクト」の設立総会へは、私も町長として参加し、この取り組みに対する、加計呂麻島地域住民の皆様の熱意を感じることが出来ました。このプロジェクトにつきましましては、加計呂麻島地域における地域再生の先進的な取り組みとして、また、今年度から民間団体として組織の充実を図り、本格的に始動したと聞いておりますので、町としましても出

来る範囲での協力はして行きたいと考えております。



「あしたの加計呂麻島プロジェクト」設立総会

月12日に各種団体への意向調査を実施しております。その後、民間有識者への意向調査、住民へのアンケート調査を実施し、現行奄振計画のフォローアップ作業を行い、計画の進捗状況、成果等を正確に把握した上で、今後の課題を設定し、法延長の必要性を整理する予定であります。

なお、今回は新たに、郷友会（東京・関西・鹿児島・沖縄）との意見交換も行うこととしております。

次期奄振と瀬戸内町・長期振興計画について

議員 次期奄振延長に向け、県では奄振総合調査等が行われています。本町の取り組みについて伺います。

町長 本年度の本町の取り組みとしましては、去る5

約したいと考えております。

新規採用職員が傍聴

今回、議会を傍聴し、議員の方々が多数の活発な意見を出される場面を目にすることがとなりました。自分たちの日々の業務の大体は、今日のような活発な議論を経たうえで形づくられていくことが理解できました。そして、議員の方々の町を思う気持ちの強さに感銘を受け、その強い気持ちをくみとり日々の業務に励んでいきたいです。



瀬戸内町職員新人研修

編集後記

3月に一度めぐって行く議会定例会であります。何かや仕事をこなしていると、いつの間にか、つぎの定例会が目の前に迫っています。

町民の皆さまに議会のやっていること、町役場の実施していること、考えていることなどを、できるだけ広く深く知っていただきたいという思いで、この「議会だより」を編集しています。

これからも、少しでも多くの方々に目を通していただけますよう、努力してまいります。

議会報編集委員長

澤 佳男

